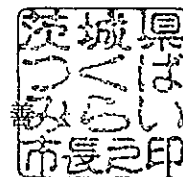




みらい都 272 第号
平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

茨城県つくばみらい市長 飯島



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号で依頼のありました上記の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

茨城県つくばみらい市

先般、「道路特定財源等に関する基本方針」を閣議決定し、道路特定財源制度を税制抜本改革時に廃止し平成21年度から一般財源化や国の責任において暫定税率失効期間中の地方の減収に対する適切な財源措置を講じるなどの方針が明示されました。

この閣議決定に基づき、地方の意見を真摯に聴いた上で、地方が必要とする財源について、早急に適切な措置を講ずるべきだと思います。

また、平成21年度からの道路特定財源の一般財源化を含む税制抜本改革の議論にあたっては、国の道路関連支出の無駄を徹底して排除するとともに、地方分権の理念に沿って、地方財政に影響を及ぼさないよう地方が必要とする財源の確保を優先し、併せて、二酸化炭素の排出量を抑制するなどの環境にも配慮した道路行政を検討すべきであると思います。

②－１ 地域の現状と抱える課題

茨城県つくばみらい市

○ 現状

つくばみらい市は、首都圏近郊整備地帯に位置し首都圏の住宅供給の一端を担ってきました。

本市の道路体系は、西部に国道２９４号、北部に国道３５４号、ほぼ中央には常磐自動車道が整備され、現在埼玉県三郷市からつくばエクスプレスと並行してつくば市までをつなぐ都市軸道路の整備が進められています。生活道路等については、現道路のまま整備がなされなかったため、慢性的な交通渋滞を引き起こす箇所が数多く見られます。

○ 課題

広域的な道路体系の充実、市の活力を向上する上でも非常に重要なものです。そのためには、近隣市との調整を図りながら国・県等関係機関への事業推進に向けた活動を行う必要があります。

また、生活道路等については、交通渋滞の緩和や人と車が安全に通行できるよう道路の拡幅、バイパス道路の整備等が求められています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

茨城県つくばみらい市

道路交通を円滑化し、活力ある地域社会を形成するため、広域的な道路体系を充実させるとともに、子どもや高齢者をはじめすべての方が安心して安全に通行できる道、環境や防災に配慮した道路等、多様な機能を十分に執り入れた道路づくりを目指す。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

茨城県つくばみらい市

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・ 地域活性化の向上 ・ 交通安全対策の強化 ・ 渋滞の解消	県道東楯戸真瀬線 （つくばみらい市東楯戸からつくば市真瀬地先） 都市軸道路 （つくばみらい市筒戸から東楯戸地先） 県道つくば野田線 （つくばみらい市上小目から西楯戸地先） 県道常総取手線 （つくばみらい市豊体地先） 県道取手つくば線 （つくばみらい市福原から伊奈東地先） 県道野田牛久線 （つくばみらい市陽光台から板橋地先） 市道 8-1351 号線（都市計画道路守谷小絹線） （つくばみらい市筒戸地先） 市道 1560 号線（小張バイパス） （つくばみらい市小張地先）	みらい平駅を中心とした広域的な道路体系を構築させ、国道 294 号線及び国道 354 号線へのアクセス道路を整備することにより、地域間の交流が図られる。 車，歩道の整備が未整備箇所では幅員が狭く歩行者や二輪車通行者に非常に危険な状態である。交通の安全性と円滑化を図る必要がある。 慢性的な渋滞を解消するためバイパスの整備が必要である。	